

惑星で星空視力大実験！！



～木星・土星“超”大接近観測プロジェクト～

今年（2020年）の12月21日から22日（日本時間、以下同じ）にかけて、木星と土星の“超”大接近が見られます。これほど木星と土星が近づく（“超”大接近する）のは1623年以来、約400年ぶりのことです。

日本で木星と土星の“超”大接近が観察できるのは、12月21日と22日の夕方（日の入り後）です。南西の低い空に注目しましょう。さて、木星と土星はどのように見えるでしょうか。1つに見える？2つに見える？この世の誰も見たことがない天文現象です。ぜひ、自分の目で確かめてみましょう！！

観察した人			
観察した日	2020年12月 日	2020年12月 日	2020年12月 日
観察した時間	時 分 (24時制)	時 分 (24時制)	時 分 (24時制)
観察した場所 (市町村など)			
見え方 (目をぱっちり開けた状態で観察した結果)	<input type="checkbox"/> ひとつに見えた <input type="checkbox"/> ふたつくっついて見えた <input type="checkbox"/> ふたつ離れて見えた <input type="checkbox"/> 見えなかった	<input type="checkbox"/> ひとつに見えた <input type="checkbox"/> ふたつくっついて見えた <input type="checkbox"/> ふたつ離れて見えた <input type="checkbox"/> 見えなかった	<input type="checkbox"/> ひとつに見えた <input type="checkbox"/> ふたつくっついて見えた <input type="checkbox"/> ふたつ離れて見えた <input type="checkbox"/> 見えなかった
スケッチ			
気がついた点や感想 天気など			

★観察お勧め期間★

2020年12月1日から12月31日 この期間、夕方（17時前後）、南西の低い空での一番星です！

★観察のポイント★

肉眼で観察します（メガネやコンタクトレンズを使ってもOKです）。木星と土星は南西の低い空に見えるので、その方角が開けている場所を事前に調べておきましょう。“超”大接近の日に限らず、木星と土星を日頃から観察することをお勧めします。5分くらい星空を眺めるなどして、外の環境に目を慣らしましょう（星空視力大実験に備えましょう）。空の明るさ（周囲の明るさ）によって木星・土星の見え方が変わってくる可能性もありますので、1日に何回かチャレンジ（観察）してみることをお勧めします。（木星は土星よりも明るく先に見え始めるため、星空視力に関係なく木星1つしか見えない時間帯があります。）

12月に入った頃から木星と土星の観察を続け、『見たよ』レポートに結果を投稿しましょう。日に日に近づく2つの惑星を見てワクワクが募ってくるかも。そして何より、来たる“超”大接近の日、木星と土星の位置が分からずに見逃してしまうという心配はなくなりますよ！！

★投稿しよう★ <https://www.nayoro-star.jp/mokuseidosei/jp/index.html>

『見たよ』レポートを投稿してください。（受付期間：12月1日から12月31日まで）

観察当日に報告してください。